

# 新型インフルエンザ対策における 医療体制について

新型インフルエンザ患者会ミーティング  
(厚生労働省)

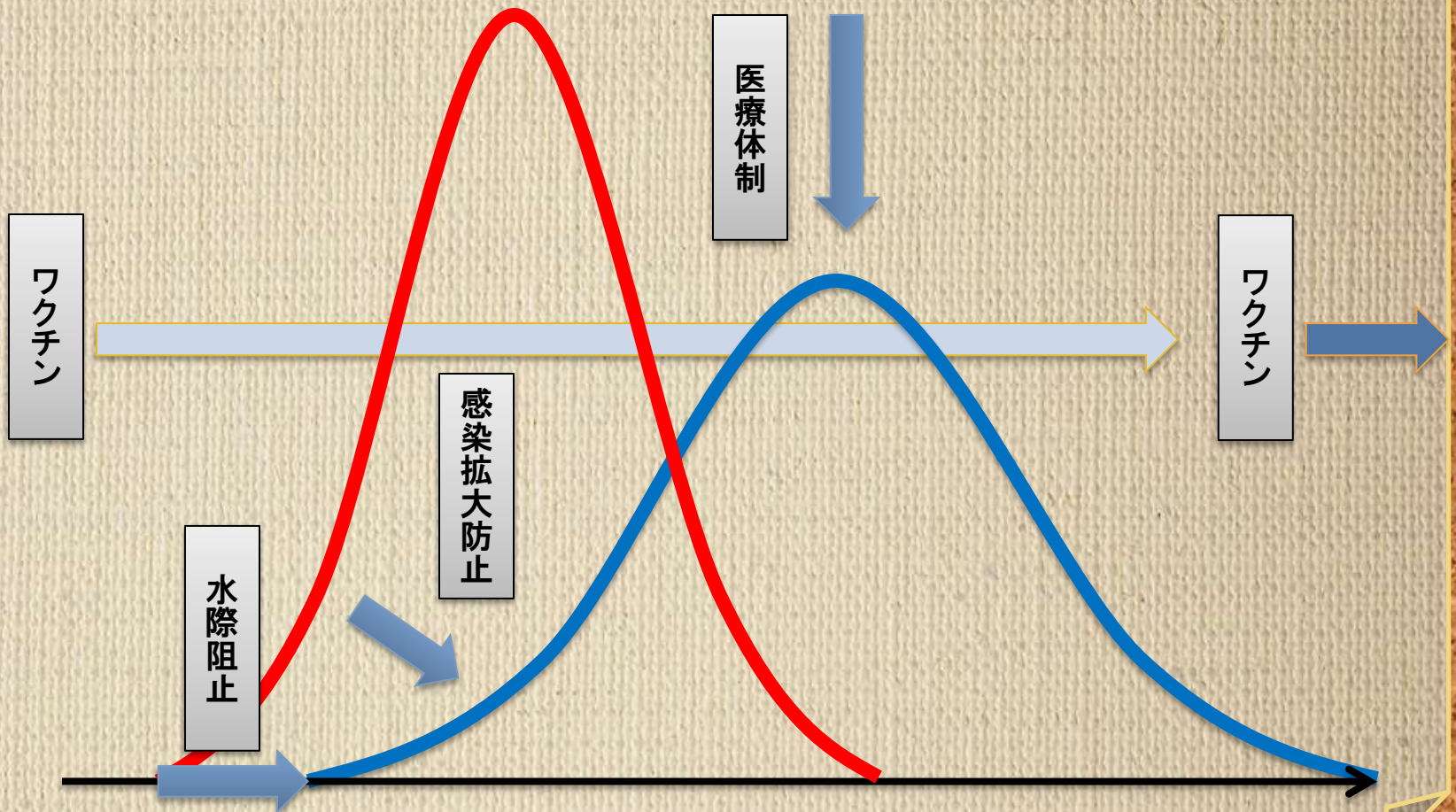
2009.09.11

厚生労働省健康局結核感染症課  
新型インフルエンザ対策推進室  
高山義浩

# 対策初期の経緯

- 4月23日 米国において豚由来H1N1の人への感染報告(CDC)
- 4月24日 メキシコにおけるILI発生状況を公表(WHO)
- 4月26日 検疫体制の強化(厚労省)
- 4月27日 フェーズ4宣言(WHO)
- 4月28日 新型インフルエンザ等感染症の発生宣言(厚労省)
- 4月30日 フェーズ5引上げ宣言(WHO)
- 5月 8日 成田空港検疫にて患者確認
- 5月13日 停留と健康監視期間を短縮(厚労省)
- 5月16日 兵庫県神戸市において国内最初の患者発生を確認
- 5月22日 行動計画を柔軟に運用する指針を策定(厚労省)
- 6月19日 すべての医療機関で対応するとした指針を策定(厚労省)

# 政府による対策の基本骨格(ガイドライン)



# 新型インフルエンザ(A/H1N1)の疫学的特徴

## ○ 基本再生産数R0 (=感染力: 1人が何人に感染させたか)

メキシコの初期	1.4~1.6
南半球(ニュージーランド)	1.96
日本	2.0~2.4
季節性インフルエンザ	1.3

## ○ 感染者の年齢分布

感染者の中央値	12~17歳
入院患者の中央値	15~42歳

## ○ 致死率

WHO報告(7月6日時点)	0.45%
---------------	-------

# 新型インフルエンザ(A/H1N1)の微生物学的特徴

## ○ 弱毒型ウイルス

2種類のブタH1N1、ヒトH3N2、トリ亜型の4つの異なるウイルス由来  
季節性インフルエンザと同程度の病原性

## ○ タミフル・リレンザに感受性

とくに早期治療が有効 / 治療の遅れが重症化要因？  
タミフル耐性ウイルスは出現している

## ○ ヒトH1N1亜型ウイルス(ソ連型)とは抗原性が大きく異なる

交差免疫はほとんどない  
ソ連型のワクチンは有効ではない

# 新型インフルエンザ(A/H1N1)の臨床的特徴

## ○ 症状

ほとんどの患者は軽症のインフルエンザ様症状を呈す  
多くが治療せずに回復する  
下痢・嘔吐が約10%にみられる

## ○ 重症化の背景

慢性基礎疾患、妊婦では重症化傾向  
健康な青年層でも、まれに重症肺炎を起こす例がある  
インフルエンザ心筋炎？  
脳症の報告が増えてきている  
一部ではARDSに進行

# 重症化のリスクが高い方々

- 慢性呼吸器疾患
- 慢性心疾患
- 糖尿病などの代謝性疾患
- 腎機能障害
- ステロイド内服などによる免疫機能不全

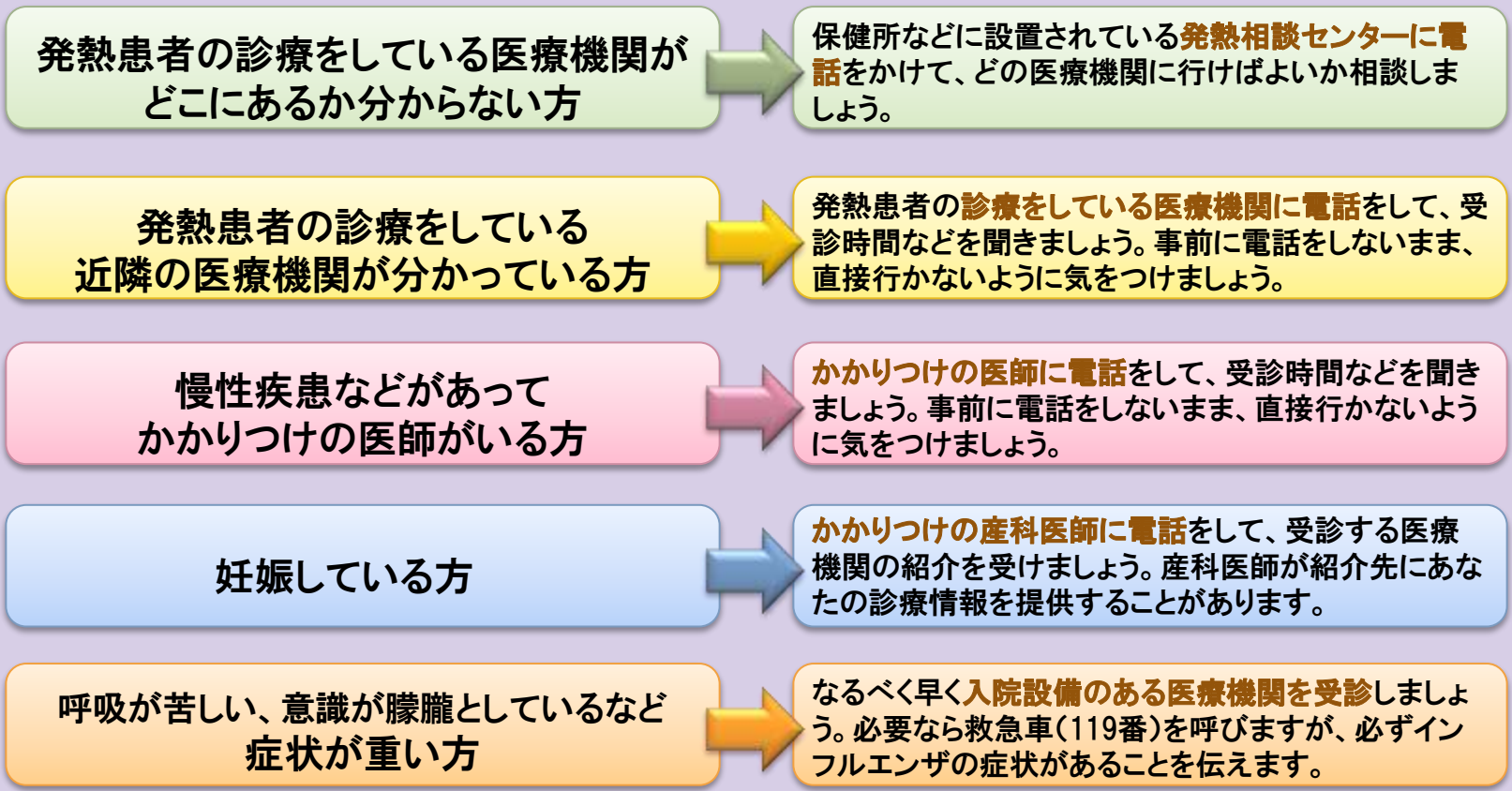
- 妊婦
- 幼児
- 高齢者

急な発熱と咳(せき)またはのどの痛み  
「インフルエンザかもしれない？」



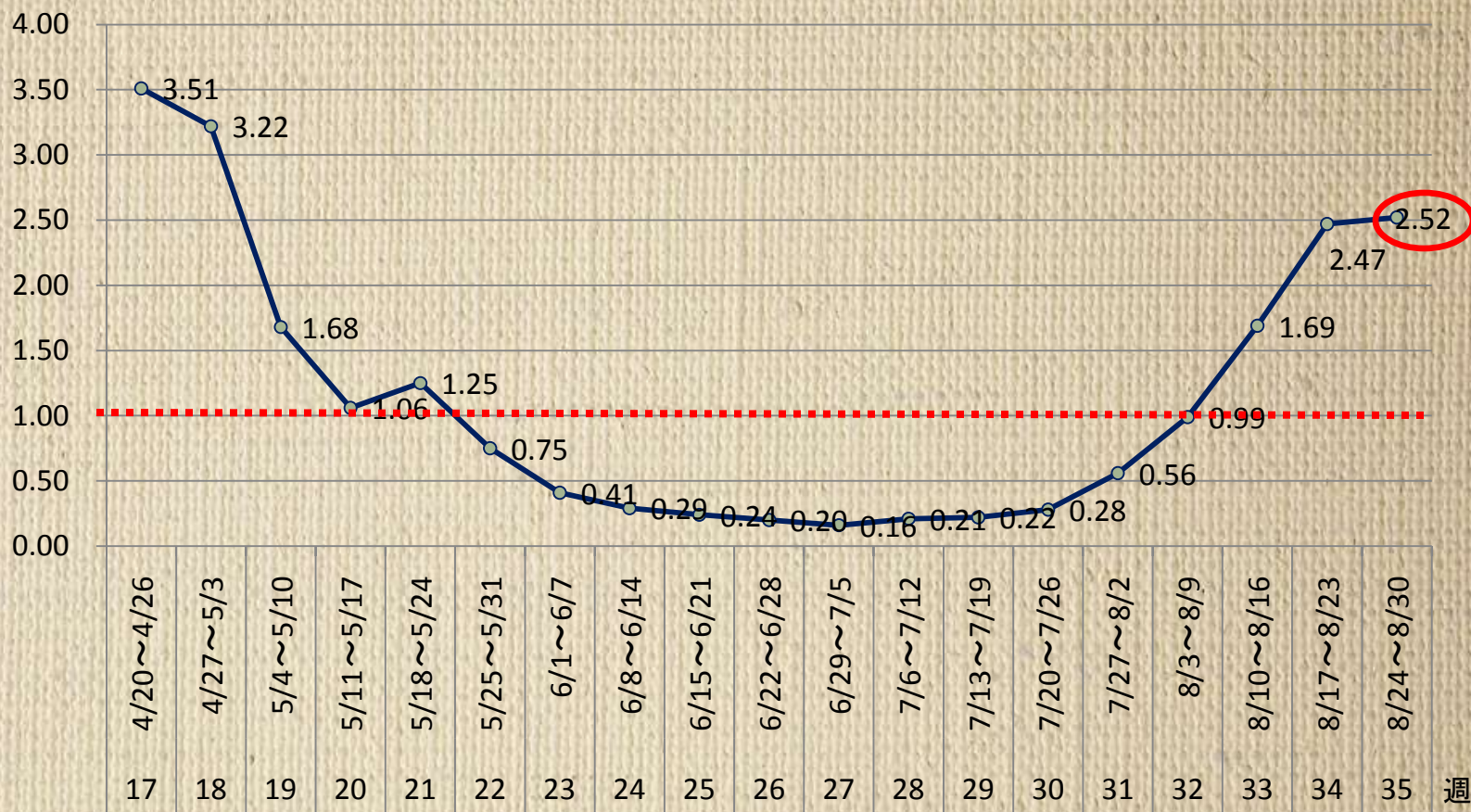
必要に応じて、医療機関を受診してください。医療機関を受診せずに療養する方は、熱が出なくなってから2日間は外出しないように心がけてください。

そう思った方は・・・？





# 定点あたり週別報告数 平成21年度



▲ 4/20 新型インフルエンザ発生  
▲ 5/18 国内発生  
▲ 6/15 フェーズ6宣言

資料: 感染症発生動向調査(全国およそ5000医療機関(小児科およそ3000、内科およそ2000)からの定点報告)

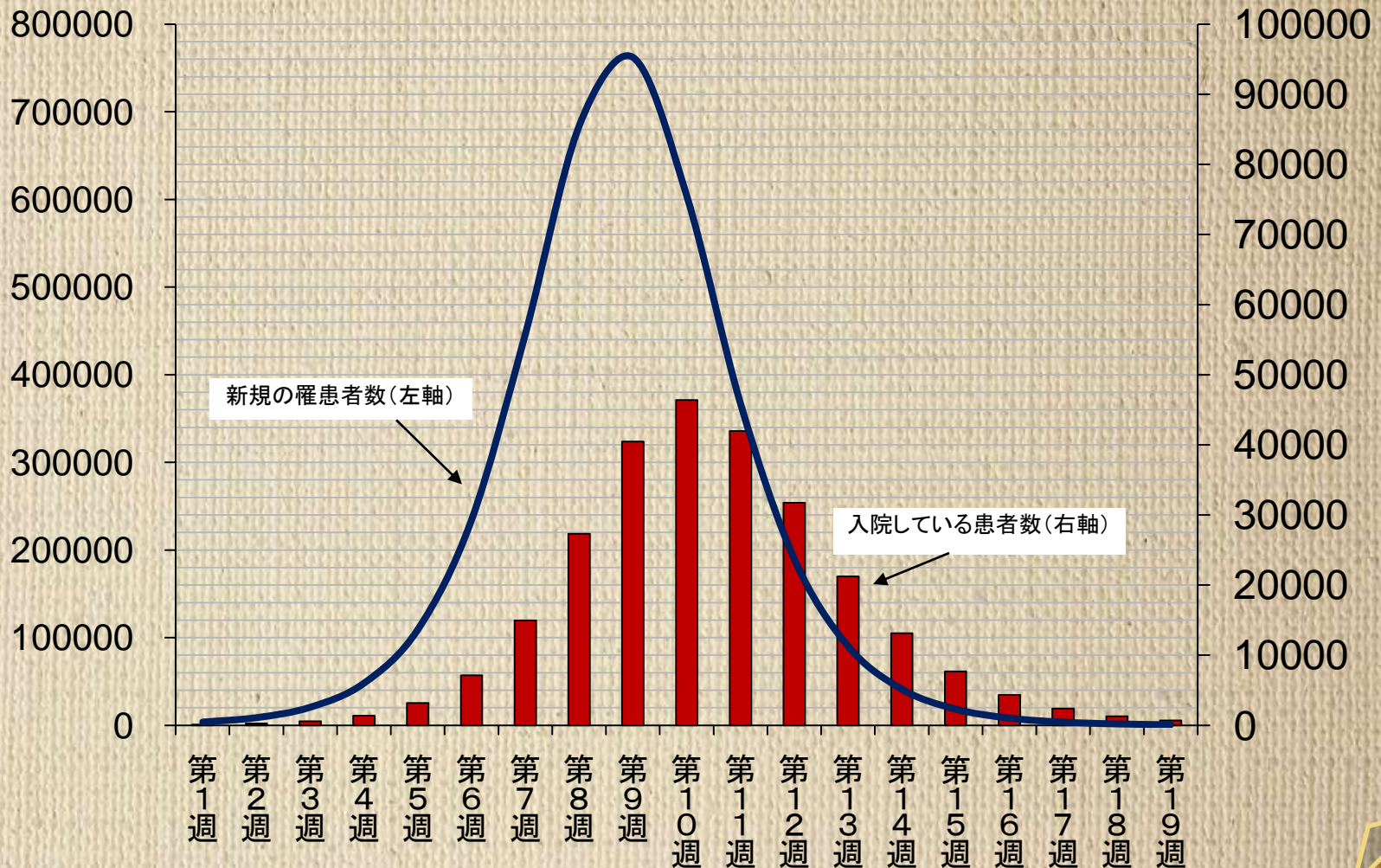
## 通常のインフルエンザのインパクト

シーズン	推計患者数	人口比
2001-02	754万人	6%
2002-03	1370万人	11%
2003-04	867万人	7%
2004-05	1686万人	13%
2005-06	1067万人	8%

## 新型インフルエンザのインパクト(推計)

	中位推計	高位推計
罹患率	20%	30%
入院率	1.5%	2.5%
重症化率	0.15%	0.5%

# 新型インフルエンザの流行シナリオ



## 最大時点における入院患者数(全国)の推計

	罹患率 20%	罹患率 30%
乳幼児 (0-5歳)	3,500人	5,300人
小児 (6-15歳)	11,800人	17,800人
成年 (16-64歳)	20,000人	30,000人
高齢者 (65歳以上)	11,100人	16,700人
合計	46,400人	69,800人

## 最大時点における入院患者数(10万人対)の推計

	罹患率 20%	罹患率 30%
乳幼児 (0-5歳)	2.7人	4.1人
小児 (6-15歳)	9.2人	13.9人
成年 (16-64歳)	15.6人	23.4人
高齢者 (65歳以上)	8.7人	13.0人
合計	36.3人	54.5人

## 外来診療の確保対策について

---

- (1) 発症者や自宅療養中の方への電話相談体制の拡充
- (2) 緊急以外の救急外来受診を控えるよう呼びかけ
- (3) 休日・夜間の外来診療について診療所との連携
- (4) 長期処方による予約の延長について周知
- (3) 電話診療によるファクシミリ処方せんについて周知

## 入院診療の確保対策について

---

- (1) 一時的な超過入院収容を実施する体制の決定
- (2) 県境を越えて搬送・受入を行う場合の調整
- (3) 透析患者、小児、妊婦の受入体制の把握
- (4) 医療従事者の健康管理の呼びかけ
- (5) インフルエンザ診療に役立つ情報の提供